

# 論理的に考え論理的に話す力を身につける講座

講師：東京農工大学 名誉教授 工学博士 北原義典 氏

1981年 広島大学大学院修士課程修了。同年 (株)日立製作所入社、中央研究所配属。音声合成、音声言語、感性情報処理、ヒューマンインタフェースの研究開発や研究室マネジメント、テーマ提案教育、特許化推進マネジメントなどの業務に従事（1986～89年 (株)ATR 視聴覚機構研究所にて聴覚の研究に従事）。1996年 東京大学大学院工学研究科博士号学位取得（博士(工学)）。2014年より、消費者行動研究、コミュニケーション研究、技術経営指導、発表・プレゼンテーション指導などに取り組む。2021年3月に退官。現在は、法政大学や拓殖大学で非常勤講師として教鞭を執る。著書には『謎解き・人間行動の不思議』（講談社、2009）、『なぜ、口べたなあの人が、相手の心を動かすのか？』（講談社）、『イラストで学ぶヒューマンインタフェース』（講談社）、『はじめての技術者倫理』（講談社）、『イラストで学ぶ認知科学』（講談社）などがある。

## 講座のねらい

みなさんは「論理的に説明してくれよ。」「論理的におかしくないか？」などと言われたり、言った経験はありませんか？

論理性では欠かすことができません。たとえば、**論理的であることは、人の説得や建設的な議論、最適な戦略の立案など、ビジネスのさまざまな場面で役立ちます。**逆に論理的でないと、主張が反論されやすくなったり、議論が感情的になったりします。ビジネスには、マネジメント、問題解決、議論・交渉はつきものですから、論理性がないとどんな仕事も成り立たないと言えます。

この講座では、論理性について、基本的かつ重要なところを解説します。まず、論理性について説明し、その後、論理的に話すことや考えることがどういったことを説明します。**ただ説明するだけでは論理性は身につけませんので、演習を入れています。それぞれ 3～5 分程度ですので、演習の際は動画を止めて、少し考えてみてください。**また、受講の後は、仕事や日常で論理的に話したり、考えたりする癖をつけるようにすると、本当の意味で論性が身に付くと思います。

## プログラム

### 1. 論理的とは何か

「論理的」とは

「論理的」の対義語

「論理的」であるとはどういうことか

演習①

演習②

### 2. 論理的に話すには

「理論的に話す」ためには

「論理的に話す」人の習慣

ケーススタディ①

ケーススタディ②

### 3. 論理的に考えるには

場合分けして考える

ロジックツリー

原因分析のためのロジックツリー

影響分析のためのロジックツリー

問題解決のためのロジックツリー

### 問題解決のためのマトリックス

演習③

演習④

演習⑤

演習⑥

演習⑦

演習⑧

「命題と論理」の復習

演習⑨

演習⑩

演習⑪

### 4. 結論の導き方には 2 つの方法がある

演繹法

帰納法

演繹法と帰納法の注意点

演習⑫

演習⑬

まとめ

【視聴期間】 アカウント発行から **4 週間** ※何度でも視聴できます

【時間】 約 50 分

【受講料】 1 アカウント **15,400 円 (税込)**

【テキスト】 印刷物（弊社から郵送）

※印刷物は 1 アカウントにつき 1 部となります。

追加購入可能です。1 部 3,300 円 (税込)

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	論理的に考え論理的に話す力を身につける講座		
<b>会社名※</b>			
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>備考※</b>			

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		